

春日井市 スポーツ推進委員だより

題字 会長 鈴木 章

第62号

令和4年3月1日

発行

春日井市スポーツ推進委員
連絡協議会 広報部

〒486-0804 春日井市鷹来町 4196-3
Tel.0568-84-7101 FAX0568-83-0006

「かすがい！スポーツフェスティバル」を終えて スポフェス部部长 近藤 健治

今年のスポーツフェスティバルも新型コロナ感染症対策のため規模を縮小して開催する事になりました。県下に出されていた緊急事態宣言も9月30日に解除になり、10月10日に開催することが出来ました。

8月に春日井市初の公式陸上競技場としてオープンした「朝宮公園陸上競技場（愛称：スポーレ春日井）」で、市長を始め多数の来賓が出席され開会式が行われました。その後、親子かけっこ教室や親子サッカー教室他3教室が実施され、親子で楽しく汗をかき晴天の日を満喫していました。

総合体育館では、小学生卓球教室やチャレンジニンジャマックス他3教室が行われました。特にニンジャマックスは、子どもがコースに設定してある障害物を走破しタイムを競うものです。子どもに一番人気のある種目で、熱い戦いが繰り広げられていました。

市民球場では、春日井広報大使「鹿島 忠」氏と元中日ドラゴンズ「川又 米利」氏の指導の下、親子野球教室が行われました。正しい投げ方、打ち方などの指導を受け、球場内に大きな声が鳴り響いていました。

今年は4会場で908名が参加され、楽しいスポーツフェスティバルになりました。今回は、3年ぶりに推進委員が全員参加しました。推進委員の皆様方のご協力で、事故もなく無事終わることが出来ました。本当にありがとうございました。



大手小学校区体育振興会の活動紹介

副会長 福島 征夫

＜設立＞昭和61年頃、春日井市から大手区に対し体育振興会設立にかかる相談及び依頼がありました。町内会で行っていた区民大運動会始めスポーツ等に関する事業の受け皿の団体として、体育振興会設立準備委員会を設置し、会員の構成、規約の作成、事業計画等を協議し、春日井市の公認団体として申請しました。平成元年に市内16番目の体育振興会が設立されました。

＜組織＞事業運営メンバーは区長、町内会長、町内会役員（体育部長・副部长等）、振興会会長、事務局、スポーツ推進委員等で構成しています。

＜事業計画＞事業計画は毎年12月頃に、事務局とスポーツ推進委員が計画、立案し、振興会の役員会で検討、翌年4月の定例総会で承認されます。主な事業はドッジビー大会、グラウンド・ゴルフ大会、親子グラウンド・ゴルフ大会、レクリエーションスポーツ祭、スポーツ講座、ミニウォーク等です。毎年1～2種の新規事業の入替を検討しています。

＜事業運営＞計画の推進は事業運営メンバーで、その都度会議を行い、実施後は反省会を行い、次回に活かすようにしています。



＜事業運営費＞事業に伴う会議費、景品、備品、設備費等の運営費は、市スポーツ協会からの補助金と、各町内会員(1800戸)からの拠出金（一戸当たり250円）で運営しています。

＜今後の取組＞令和3年8月に「朝宮公園陸上競技場（愛称：スポーレ春日井）」が完成しました。町内と隣接した施設でもあり、計画、立案時に活用できる事業を検討したいと考えます。また、大手小学校区体育振興会だけの事業ではなく、他地域の体育振興会との共同事業の計画も検討して行きたいと思えます。

スポーツ推進委員について教えて！ No.3

地域のスポーツ活動の支援って、具体的にどんなことをしているの？

今回から、小学校区でどのような活動をしているのかを紹介していきます。初回は、北城小学校区の活動を紹介します。

北城小学校区のスポーツ推進委員の活動

推進委員 安藤 昇



北城小学校区を伊藤雅太委員と2人で担当し、私自身は委嘱されてから8年が経ちました。人と人との出会いの機会をつくり、地域の交流の場と活性化を目指して活動しています。当地域にはいろいろな団体や組織があり、イベントが行われています。スポーツ推進委員という立場で各組織に属し、様々な行事にかかわって、実技指導や助言をしています。また、企画立案、連絡調整、運営などにも携わっています。具体的には校区住民を対象にした「北城小学校区運動会」

「3世代交流グラウンド・ゴルフ大会」「歩け歩け健康ウォーク」、高齢者や子どもたちを対象にした「ラジオ体操」「レクスポの紹介や指導」などです。特に「北城小学校区運動会」は、小学校、3地区区会、体育振興会、老人会、子ども会が一つになって行う一大イベントで、「種目・出場人数・役割分担の決定」「プログラムの作成」「当日の運営」など、伊藤委員とともに実行委員として直接かかわっています。今では1,000人が出場するパン食い競争は、皆さんの楽しみの種目となっています。今後も一層地域とかかわり、地域の皆さんが健康で、楽しく、仲良く暮らしていけるよう、推進委員としての誇りを持ち、活動して行きたいと思っています。



スポーツ推進委員になってみませんか？

春日井市のスポーツ推進委員は、令和2年度末で5人の委員が退任しましたが、令和3年度新たに8人が加わり、総勢69人で活動しています。今年度も新型コロナウイルス感染防止対策にかかわって、活動にも制限がありましたが、10月22日と11月25日に実技研修会を開催することができました。新任委員も含めて、カローリング・ボッチャ・ディスコン・バグジー・リングスロー・アキュラシー・ラダーゲッターの競技について研修しました。



私たちは、新しい仲間を歓迎しています。春日井市をスポーツで元気にしたいという気持ちがある方は、総合体育館(84-7101)まで問い合わせてください。



ニュースポーツ紹介

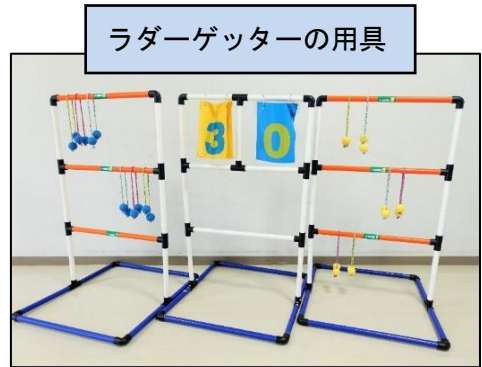
第3回

ラダーゲッター

市民の皆さんにニュースポーツを広く知っていただくために、毎号一つずつ紹介しています。3回目は、公民館などの狭い場所でも手軽に楽しむことができる『ラダーゲッター』を取り上げます。短いロープを的に向かって投げて得点を競います。激しい動きがなくルールも分かりやすいので、小さなお子様からご年配の方まで、どなたでも楽しむことができます。

ラダーゲッターとは

ひもでつながっているボールを投げ、ラダー・ゴールのバーにボールをひっかけて得点を競うゲームです。投げたボールがどの段のバーにひっかかるかで得点が変わり、21点先取したチームの勝ちとなります。ただし、ちょうど21点で終わる必要があります。



- プレイヤーはファールラインの後ろから、ラダー・ゴールに向かってボールを投げます。
- ボールを投げる時は、ボールを持ちアンダースローとします。
- ボールがうまくラダー・ゴールのバーにひっかかればポイントを得られます。ボールが床に落ちてしまったり、他のプレイヤーによってはじかれてしまった場合はポイントが入りません。

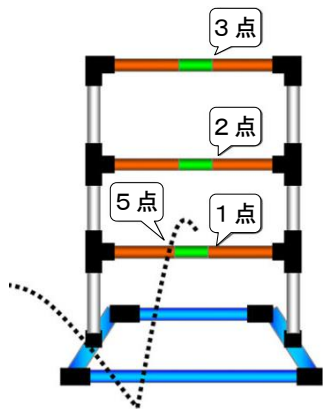


ゲームの進め方

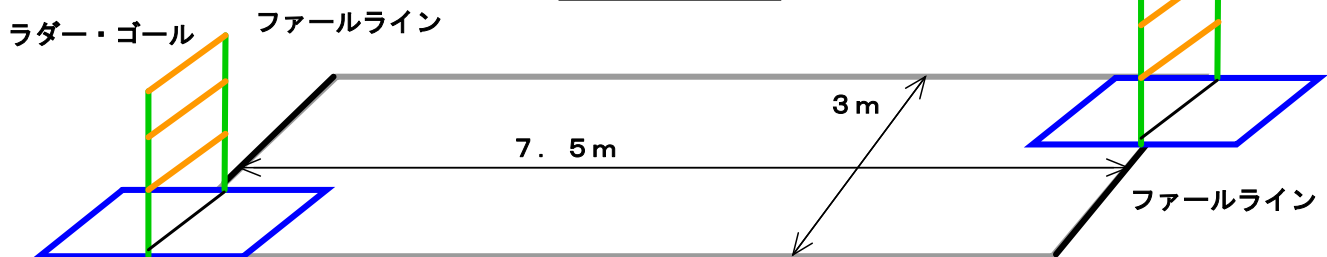
- ①まず手前のコートで、先攻チームと後攻チームが交互に投げます。
- ②チーム全員が投げ終わったら、向こう側のコースで続けます。これを決着がつくまで繰り返します。
- ③ちょうど21点で勝ちとなりますが、21点を超えた場合は、そのボールを取り外します。

得点の数え方

- 一番上のバーにボールがひっかかる：3点
- 真ん中のバーにボールがひっかかる：2点
- 一番下のバーにボールがひっかかる：1点
- 地面にバウンドしていずれかのバーにボールがひっかかる：5点



基本コート



※ コートの長さは、参加者の年齢によって短くしても良い

※総合体育館にはラダーゲッターの用具が3セットあり、貸出できます。（公益性の高い団体などに限る）

4市スポーツ推進委員合同研修会

令和3年12月18日に、春日井市総合体育館にて4市スポーツ推進委員合同研修会を開催しました。
(4市とは、瀬戸市、小牧市、尾張旭市、春日井市です)

講師に中部大学准教授の松村亜矢子氏をお招きし、前半は「オリンピックまでの道のり&裏話」「スポーツ推進委員が地域スポーツを支える」と題した講演。スライドに合わせて自らの経験を交えながら、分かりやすく講演をしていただきました。後半は「講演会や教室開催前に役立つアイスブレイク」



「認知症予防に効果的なコグニサイズ」という2種類の実技研修を指導していただきました。参加者は必死に頭を使いながら、運動に合わせてしりとりや計算などをする認知機能アップ体験に真剣に取り組みました。

永年表彰

令和3年度は3名の委員が表彰を受けました。

東海四県功労者表彰 鈴木 章
愛知県10年表彰 各務 泰
長江 勝郎

10年表彰を受けて

推進委員 各務 泰

10年前の2011年3月11日に東日本大震災が起きました。多くのボランティアが現地に足を運んでいました。自分にも何かできないか？でも東北まで足を運ぶのは難しい。そんな思いでいたとき、中学時代の恩師から「スポーツ推進委員をやってみないか」と言葉をかけていただきました。地元での活動だしやれるかとも思い、仲間に入れていただくことになりました。

スポーツフェスティバルやマラソン大会、巡回指導等の活動を通して、たくさんの感動や元気をもらいました。そしてスポーツ少年団の子どもたちをはじめとするボランティアの方々からは、ともに活動し感謝し合うことの大切さを教えていただきました。この春日井で多くの人とのかかわりができたことをうれしく思います。

スポーツ推進委員の活動を通して教えていただいた3K、「感謝・感動・かかわり」をこれからも大切にして頑張りたいと思っています。

スポーツ推進委員手帳

推進委員 長江 勝郎

私は、スポーツ推進委員になってから毎年スポーツ推進委員手帳を購入しています。新しい手帳を手にとるとまず既に決まっている新しい年のスケジュールを書き込んでいきます。ほのかにインクの香りがするような真新しい手帳を開き未来の行事に思いをはせる至福の時間です。しかし残念ながら10年目の2021年の手帳は新春春日井マラソン大会を始め多くの行事がコロナ禍でできなくなり横棒線で消されてしまいました。届いた2022年の手帳には、今年消されてしまった行事を新しい手帳にしっかりと大きな文字で書き込み、11年目のスポーツ推進委員として新たな気持ちで取り組みたいと思っています。そして毎年新しい行事を書き込み終わると次に資料編の都道府県別スポーツ推進委員数を確認します。愛知県は毎年2,500人程度で2位です。1位は4,000人を超える神奈川県で他の都道府県を圧倒しています。10年後に手にする2032年の手帳には、地域での交流イベントなど、これまでにはなかった新しい事業がたくさん書き込まれ、愛知県のスポーツ推進委員数が全国1位になっていることを夢見て、これからも活動に取り組んでまいります。

スポーツ推進委員全体で取り組む令和4年度の主な予定をお知らせします。

レクリエーションスポーツ祭2022 令和4年6月12日(日)
かすがい!スポーツフェスティバル 10月10日(月・祝)
第41回新春春日井マラソン大会 令和5年1月8日(日)

上記以外にも、地域の様々な活動に、スポーツ推進委員は参加しています。

お知らせ